

今後の活動紹介

- **9月16日(金) 0歳児からの音楽会**
- ・開演／13：30
 - ・場所／わかやま市民生協 2階 E*KAOホール
 - ・演奏グループ／『Wa. corda』わ・こるだ
バイオリン、コントラバス、ピアノの
トリオアンサンブル（三重奏）
 - ・参加ご希望の方は、最寄りの生協もしくは和歌山県
生協連までご連絡下さい。
- **10月23日(日) 第36回 生協まつり**
- **10月29日(土) 第37回 労働者福祉まつり**



ホットな消費者ニュース Vol.50

※出典／平成28年8月和歌山県消費生活センター発行 より

～ 消費者被害にあわないための最新情報をお届けします！～



イラスト作成／鈴木 薫

和歌山県生活協同組合連合会

和歌山中央医療生活協同組合・和歌山県学校生活協同組合・和歌山県労働者共済生活協同組合・わかやま市民生活協同組合
紀の国医療生活協同組合・和歌山大学消費生活協同組合・和歌山県立医科大学生活協同組合・和歌山高齢者生活協同組合
泉南生活協同組合・日鉄住金和歌山生活協同組合・生活協同組合コープ自然派和歌山

和歌山県

生協連ニュース

No. 8

和歌山県生活協同組合連合会

〒640-8323 和歌山市太田三丁目10番10号 わかやま市民生協気付
TEL.073-474-9095 FAX.073-474-8649

和歌山県生協連

檢 索

<http://www.wakayamakenren.jp/>

第26回通常総会を開催しました

6月22日、第26回通常総会をわかやま市民生協 E*KAOホールで開催しました。ご来賓として8団体から11人の出席があり、各会員生協から75人が参加しました。



当日お越しのご来賓を代表して、岡本勝年様（和歌山県環境生活部県民局長）から県連の日頃の活動に対する評価と、地域での支え合いを大切に、今後もさらに地域との連携をすすめたいとのご挨拶をいただきました。あわせて山崎龍平様（和歌山県農業協同組合中央会専務理事）、小山正人様（公益社団法人和歌山県

労働者福祉協議会常務理事)、柳下剛様(日本生活協同組合連合会関西地連事務局)、からもご挨拶をいただきました。

祝電・メッセージは各団体から57通いただきました。

総代会終了後の懇親会では、泉南生協、労災生協、大学生協から単協報告がありました。

可決決定された議案

- | | |
|---------|--------------------------------|
| ▶ 第1号議案 | 2015年度活動報告・決算報告・
剰余金処分案承認の件 |
| 第2号議案 | 2016年度活動方針・収支予算・
事業計画決定の件 |
| 第3号議案 | 役員補充選任の件 |
| 第4号議案 | 議案決議効力発生の件 |

〈和歌山県生活協同組合連合会 役員〉

会 長	事 務 理 事	上 田 欣 士 郎	
副 会 長	事 務 理 事	久 保 田 泰 造	(新 任)
専 務 理 事	事 務 理 事	中 井 勝 也	
理 事	事 務 理 事	野 口 共	
理 事	事 務 理 事	栗 山 光 一 郎	
理 事	事 務 理 事	山 口 雄 司	
理 事	事 務 理 事	川 口 昌 宏	
理 事	事 務 理 事	松 永 賢 司	
理 事	事 務 理 事	山 本 克 彦	
監 監	事 務 理 事	田 畑 安 敏	
	事 務 理 事	阿 部 秀 二 郎	



役職員研修会「賀川記念館／復興と慰霊のモニュメント／人と防災未来センター」

5月18日、役職員研修会として賀川記念館、阪神・淡路大震災の慰霊と復興のモニュメント、人と防災未来センターを訪問し、協同組合の原点を勉強してきました。各会員生協6生協21人が参加しました。

賀川記念館

賀川記念館を訪問し、協同組合の父である賀川豊彦について学んできました。賀川豊彦は我が国で初めて協同組合を作った人物です。1951年に日本生活協同組合連合会を組織し、初代会長に就任する他、多くの慈善活動にも取り組みました。賀川豊彦の生涯を、語り部の志方京三さんに話していただきました。



《賀川豊彦》

阪神・淡路大震災 慰霊と復興モニュメント

神戸市内にある、慰霊と復興モニュメントを見学しました。阪神・淡路大震災を受け、震災の記憶と復興の歩みを後世に伝えるために建築されたものです。犠牲者の慰霊と市民への励まし、震災からの復興、大規模災害に対する世界的規模での連帯による復興の意義、それらをコンセプトとして建築されたモニュメントは、美しさもさることながら、それらのコンセプトが感じられる感動的な作品でした。



人と防災未来センター

神戸市内にある、人と防災未来センターを見学しました。震災追体験フロアでは、「5：46の衝撃」という大型映像と音響のシアターを視聴しました。

阪神・淡路大震災の地震破壊のすさまじさが体感でき、すごい迫力でした。震災の記憶フロアでは、震災関係資料が提供者の体験談と共に展示されていました。胸打つものが多く、この震災を忘れてはいけなと改めて考えさせられました。



役職員研修会「超高齢化時代！生協に期待すること」



7月22日、役職員研修会「超高齢化時代！生協に期待すること！」をわかやま市民生協 E* KAOホールで開催しました。

和歌山大学経済学部准教授、金川めぐみ氏による講演では、現在の和歌山県の高齢者の割合、グループ活動の動向などをお話いただきました。

また、生協を利用する組合員の動向を調査し、生協はどのように高齢化時代で貢献できるかを提言していただきました。

生協は何を強みに高齢化時代に貢献できるか？

具体的なモデルとして、外国駐在していた高齢者が、生活で使う英語を児童に教える事業を紹介いただきました。

最後に、参加者でグループ討議をして、所属する生協で「超高齢化社会」に対応し、“どのように社会をつなげるか”このテーマに沿って、アイデアを出し合いました。

各生協で強みになる事業があり、色々なアイデアが生まれ、貴重な時間となりました。



第11回 国際協同組合デー in 和歌山



7月6日、第11回国際協同組合デー in 和歌山がホテルグランヴィア和歌山で開催されました。参加人数は全体で206人、県生協連からは40人が参加しました。

和歌山県協同組合組織連絡会の中家徹会長から開会挨拶として、「国連が2012年に定めた『国際協同組合年』において掲げた『協同組合がより良い社会を築きます』という共通目標の実現に向けて連携し、地域において期待される社会的役割と責任を誠実に果たしていく」との挨拶がありました。

金子勝氏講演「どうなる日本、くらしと地域」

金子勝氏（慶応義塾大学経済学部教授）による「どうなる日本、くらしと地域」というテーマで、記念講演を開催しました。

今の日本は正社員が減り、非正規の社員が2000万人いる状態で、企業の収益が上がっても正社員の給与のみが上がる状態であり、所得格差が広がっている日本の経済状況についての指摘がありました。また、「地域経済の立て直しは、全ての産業の立て直しに繋がる」、「日本の企業は小規模で安全なものをこれからも作り続け、大規模の外国とは差をつけていって欲しい」との提言がありました。

和歌山県協同組合組織連絡会の上田欣士郎副会長から閉会挨拶として、「世界の経済現状と協同組合の現状には差があり、ますます協同組合間の連携を深めてこれからの日本経済を担っていきましょう。」と締めくくりました。

